

## 第 1472 回例会報告

### 会長挨拶

会長 河西達雄

### グエンドリンさん

来週は、ガバナー補佐訪問例会です。当クラブ選出のガバナー補佐ですので、多くの方の出席をお願いいたします。ただし、当クラブ出身とはいえ、馴れ合いにはなりたくないの、厳粛に行いたいと思います。

8月23日、留学生のグエンドリンさんがフランスからお見えになりました。

出迎えに際し私のミスで、宮坂英貴会員の奥様には大変なご苦勞とご心配をおかけしましたが、奥様は、お嬢さんとお2人で諏訪サービスエリアまで出かけていただき、無事グエンドリンさんをお迎えしていただきました。「ドキドキしたよ、でもなんとかご覧の通り無事連れてきました」と言っていました。申し訳ない次第です。

宮坂会員はしばしば「俺は家族の中で信用されていないんですよ」と言っていましたので、少し怖い奥さんかなと想像していました。ところが、何回かお会いする中で、奥様もお嬢様も大変明るく優しい人で「信用されていないのは宮坂君、本当に君が悪い」と思いました。(冗談です)

同日、長崎留学生受入プロジェクトリーダーとともに夕方お話をしてきましたが、前評判通りの美人で聡明な方でした。その際長崎さんが連絡カー

平成28年8月25日(木)晴れ

ドまで作ってグエンドリンさんに渡していたのにも、大変感謝の気持ちで一杯でした。

翌日は住民登録、国民健康保険取得などの手続きをしてきましたが、2日間の接触で英会話は100%の理解力で、私のめっちゃくちゃな英会話でも意思が十分伝わりました。

日本語の理解力は当人の申告通り20%程度ですが、言葉のいくつかは知っているという感じです。フランスでは日本語教室に通っていて、その勉強の一環で昨年5月には10日ほど勉強で日本を訪れたと話していました。基本を理解しているので、数か月で一気に話せるようになると思います。

宮坂会員や家族の方は、スマホで日本語を英語やフランス語に変えるソフトを駆使して、会話は弾んでいるようです。

今朝も向陽高校に長崎会員と私で校長、教頭先生へ表敬訪問にお伺いしましたが、その折宮坂夫人に「今朝彼女はどのようにしていますか」とお聞きしましたら、「元気ですよ。初登校でドキドキしているそうです」と言っておりました。

その翻訳ソフトを私も使ってみたいのですが、スマホへ打ち込むスピードを見ていたらそれだけで諦めてしまいました。ソフトを使う前に文字を打てないとは情けないことです。(余談ですが現在はそうしたソフトのことをスマホでもパソコンでもアプリと呼んでいます)

来日スケジュールが詰まっていますので、落ち着き次第、9月中には例会に参加していただきご挨拶をしていただきたいと思います。

#### ■出席報告

会員数	38名
出席対象	36名
出席者数	29名
出席率	80.6%
前回修正	88.9%

#### ■ニコニコBOX

2名	4,000円
累計	81,320円
目標額	60万円
達成率	13.6%

#### ■今週のことは

本日はガバナー公式訪問で富士見 RC へ行っております。公務とはいえ担当する IM の例会に出席できず申し訳なく思っております。IM への御協力なことぞお願いいたします。

大澤邦彦諏訪 G ガバナー補佐



## ◇幹事報告◇

## 【報告事項】

1) 来週はガバナー補佐訪問例会です。100%出席を目指しますのでお願いします

なおガバナー補佐訪問終了後のクラブ協議会は理事の皆様は義務出席です。本日案内をお渡ししますので、再度ご確認くださいとともに万一欠席の時は必ず代理の方が出席するようにお願いします”

2) 2600 地区より、地区プログラム訂正シールが 8 枚のみ来ています。ご入用の方はご連絡ください。

## 【連絡事項】

1) NPO 法人しなとべより諏訪湖浄化勉強会の案内が届きました。社会奉仕委員会にお渡しします

## 【受領文書】

1) 国際ロータリー第 2 ゾーン・ロータリー財団ニュース 8 月号が届きました

2) 岡谷ロータリークラブより 2016-2017 年度クラブ計画書並びに 2015-2016 年度報告書が届きました

## 第 1472 回例会

## IM についてのグループディスカッション

担当 IM 実行委員会  
三村昌暉実行委員長

【2016～2017 諏訪グループIM】

★日時 2017. 2. 26. (日)

★場所 ライフプラザマリオ 岡谷市長地権現町

★大澤ガバナー補佐のIMに対する要望。地域に貢献できるものを考える。

★IM実行委員会スタッフ

委員長 三村昌暉 副委員長 高山 巖 全理事  
ガバナー補佐事務局 事務局長 吉澤邦雄 副  
事務局長 小口直久  
事務局員 高山 巖 宮坂 健 宮坂英貴

★例会企画 グループディスカッション

【IMのテーマと内容について、会員の意見・要望を聞く】

4テーブルに分かれてディスカッションが行われ、以下

のような意見が出されました。

○高山 巖テーブル

・IM開催が、御柱年の翌年になる。御柱の意味と歴史を学び、我が地を自慢できる知識の取得を図る。

・IM開催がリオオリンピックの翌年になる、日本選手が大活躍。長野県出身選手の活躍もあった。その体験談と、ロータリークラブが出来る支援の動機付け。

・諏訪湖の公魚の大量死発生。諏訪湖の生い立ちと現状を知る。諏訪湖周域全体で環境との関わり方の認識づくり。

・産業・青少年育成。2016岡谷・下諏訪ロボバトル大会の内容披露。

・文化遺産。黒曜石採掘場所 星ヶ塔遺跡の歴史

○吉澤邦雄テーブル

1) 諏訪湖浄化に関わるテーマ

“わかさぎの大量死”に関わる酸欠問題が起こっていることもあり、諏訪湖浄化(水質含む)への更なる関心喚起と取組を促進するために、湖周域の小中学生を巻き込んだ「環境学習」とその支援を考える。

■当クラブにとっては発足以来長年のテーマではあるが、マンネリ化と共に他クラブにとって当クラブ程の知識レベルではなく、関心度合いも低いため、講師を含め余程の真新しい視点で考えないといけないとの意見が大多数でした。

2) 地域文化の発掘をテーマとする

“御柱→縄文文化”(黒曜石に重点を当てた)を活かしたテーマを取り上げ

地域観光、活性化につなげて行く。

■本年度は御柱が行なわれ、またNHKでも特集が組まれたこともあり、そのルーツに関わるテーマはタイムリーであり、グループ内の会員の関心も高いと思われる。また、石器時代から縄文草創期の重要な道具(武器、交易品)であった“黒曜石”の一大産地が下諏訪を中心とした霧ヶ峰周辺にあることを理解し“曾根遺跡”他の縄文遺跡・文化を活用すべきとの意見もあった。

3) 社会問題(心の問題)をテーマとする

昨今の社会問題(特に子供の貧困、心の貧困)に重点を当て、RCはどう対処していくかを考える。

■最近、こうしたテーマは余り取り上げられていないが、子供の貧困、孤独死、家庭内暴力等

「心の問題」を含め地域社会の重大な問題になりつつある。地域社会に貢献するためにもロータリーはこうした問題にどう対処していくのか等を話し合う。(パネルディスカッション)

○小口直久テーブル

- ・諏訪湖浄化 多面的にとらえる
- ・諏訪大社 御柱祭
- ・各クラブの代表者によるディスカッション (各クラブを理解する為に)

○三村昌暉テーブル

・諏訪地方を世界遺産にチャレンジ。諏訪は一つと考え、縄文から現代にいたる、歴史・文化・その背景となる自然環境等、世界遺産になる要素十分と考える。

・地域に貢献できるものというのであれば、これを機会に7クラブ共同で永続性のあるプロジェクトを作るのがベスト。かつて、そんなプロジェクトがあったが、途中で終息してしまった。これを反省材料にしてより良きプロジェクトを！！手始めに7クラブの現在行っている奉仕事業を調べる必要があるのでは。

・行政の線引きや、7クラブのテリトリーを超えた共通に興味の持てるものは何か。八ヶ岳山麓から諏訪湖周辺に至る、最後の縄文王国と言われた諏訪地方が一つになって縄文からの歴史文化を考え未来を展望する。

等々の意見が出されました。IM実行委員会に置いて、よく精査しプランニングの参考にさせていただきます。ご協力有り難うございました。